

平成 30 年度第 2 回嶺北地域アクションプランフォローアップ会議 議事概要

日時：平成 31 年 2 月 8 日（金） 13：30～16：00

場所：土佐町保健福祉センターあじさいホール

出席：委員 17 名中、12 名が出席（代理出席 1 名含む）

議事：(1) 地域アクションプランについて

- 1) 第 3 期嶺北地域アクションプランの進捗状況等について
- 2) 平成 31 年度嶺北地域アクションプラン（案）について

(2) 産業成長戦略について

- 1) 第 3 期産業振興計画 ver. 4 の改定のポイント（案）について
- 2) 移住促進分野の取り組み状況について
- 3) 「リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～」について

議事 (1) (2) (3) について、県から説明し、意見交換を行った。（主な意見は下記のとおり）
議事については、すべて了承された。

※意見交換概要（以下、意見交換部分は常体で記載）

(1) 地域アクションプランについて

(No.17 嶺北地域の連携による交流人口の拡大)

(No.18 嶺北広域観光アウトドアの里づくり)

（細川委員）

昨年の本山町議会でアウトドアヴィレッジの指定管理者が選定され、現在指定管理者であるアウトドアメーカーのモンベルが事業メニューや年間スケジュールの策定を進めている。アウトドアヴィレッジは現在 5 月末の竣工を目指して工事が行われており、7 月 7 日の土佐れいほく博のオープニングイベントをアウトドアヴィレッジで行いたいと考えている。

ただ、アウトドアの里づくりに参画をしていただいている方々の支援と活動が無ければ、アウトドアヴィレッジ、土佐れいほく博、また博覧会以降のアウトドア資源を活用した地域の活性化は叶わないものと考えている。引き続きご協力をお願いしたい。

（小笠原（妙）委員）

日程の詳細は分かったが、各 4 町村で何をするのか、我々は何をすればいいのかというところまで詰めていくべきではないか。

（細川委員）

当初博覧会を企画した際に、大きなパビリオンは建てず、4 町村で現在保有している地域資源やイベントを磨き上げるということでスタートした。年間のイベントを再確認して、「土佐れいほく博」という看板をかけ、大きく発展させるということで対応をしている。

現段階ではアウトドアヴィレッジで行う事業を四季ごとにメニュー化し、各町村の固有のイベントと上手く組み合わせ、魅力を高める取り組みが急がれる。

もう一つは、土佐れいほく博は決して一過性ではなく、イベントを重ねるごとに改良すべきは改良し、例えば広域観光組織で、複数年にわたって緩やかではあってもアウトドア資源による交流人口の拡大を続けるようにしていきたい。

(小笠原(妙)委員)

5月には具体的に何をするのかということ計画し、紙面で住民の皆さんに分かるようにしないとイケないのではないかと。

(細川委員)

3月頃には土佐れいほく博推進協議会において嶺北地域内の関係機関の方々にメニューやスケジュールをお示しし、審議のうえ、整えていく。

(豊永地域産業振興監)

土佐れいほく博は、パビリオンを構えて、そこに来ってもらうというような博覧会ではなく、キャンペーンのようなもの。今回の博覧会の特徴は、山岳トレイルなどを博覧会の中の一つのプログラムという形で取り上げていくことになる。

待ちの姿勢にならずに積極的にやりたいことを皆さんで考えていただき、皆で盛り上げていただければと思う。

(重光委員)

観光と食とアウトドアが中心で、どういうものがあるか、これから何をやるのかというパンフレットのようものが出来れば皆さんのイメージが湧いてくると思う。

私も地区の会議などで説明して雰囲気を作っていく、商工関係で言えば何か土佐れいほく博のための商品開発などができないか、もっと先のことを見越した活動が必要だと考えている。

(2) 産業成長戦略について

(第3期産業振興計画 ver.4の改定のポイント(案)について)

(窪内委員)

林業大学の卒業生について、平成29年19人、県内就職100%ということだが、どのようなところに就職しているのか。

(久川嶺北林業振興事務所長)

今年林業大学校として本格開校となり、今までの3年間の基礎課程に加えて、森林管理、森林技術、木造設計の3コースがある。就職率100%だが、素材生産業者や森林組合が主になっている。基礎課程の方は、山で実際に仕事をする方がほとんどではないか。

(窪内委員)

森林組合に少し関わっているが、人材が欲しいがなかなか来ていただけない。林業に従事する方を増やしていただきたい。

(「リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～」について)

(重光委員)

このキャンペーンのパンフレットはどのぐらい配布されるのか、また、どのように配布されるのか。また有料なのか。

(原観光政策課課長補佐)

パンフレットについては無料。観光施設や市町村にはすでに一定部数を配布させていただいている。連絡をいただければ配布させていただく。

(以上)